

平成 25 年大磯町議会

9 月定例会総括質疑（9 月 10 日）

質問議員	質問事項
<p>1 8 番 高橋富美子議員 (40 分) 9:15~9:55</p>	<p>1. 平成 24 年度の町長の施政方針のなか、重点的に取り組む事項の「教育」で「子どもたちの人格を尊重し、まちづくりに参画する権利を保障するとともに、責任ある社会人となるための自覚を求める」とある。子どもたちがまちづくりに参画する場として「子ども議会」があるが、24 年度の「子ども議会」で提案された内容はどのように実行されたのか。</p> <p>2. 平成 24 年度一般会計予算に対し、3 月 16 日の本会議において 7 名の議員連名で付帯決議を出し可決された。この決議の 3 点はどのように執行されたのか。</p> <p>(1) 幼稚園、小学校、中学校における災害時食料備蓄等について。 (2) 農業施策における遊休農地、荒廃農地対策への予算増額は。 (3) 生活交通対策における赤坂台地区等、公共交通空白地域へのデマンド方式を含む運行方法等、費用対効果を含めた検討の結果はどうであったか。</p>
<p>2 7 番 吉川 重雄議員 (40 分) 9:55~10:35</p>	<p>24 年度予算編成にあたって、町長は、限られた財源を有効活用し、重要課題の優先順位をつけ、事業の見直しを行うとの考えで、「医療・福祉」「教育」「まちづくり」「危機管理」「廃棄物対策」「産業・観光」の 6 つの重点項目を掲げ、予算編成方針を述べた。</p> <p>しかし、実際に提出された 24 年度予算案には予算編成方針との整合性が見られず、7 人の議員で一般会計予算に対する付帯決議を提出した。</p> <p>以下の点について問う。</p> <p>(1) 医療・福祉では、予算額 14 万 6,000 円でおあしす 24 健康おおいぞ事業を行うとあったが、実際どれほどの医療費削減効果が出たのか。</p> <p>(2) 付帯決議という議会としての機関意思決定が、24 年度決算において具現化されたのか、効果は出たのか。</p> <p>①幼・小・中における児童・生徒用の災害時食料備蓄、子どもの命を守るという点で、どれほど具体的なことが実現できたのか。</p>

	<p>②産業振興における農業施策では、高齢化が進む中での遊休農地・荒廃農地対策にどのように取り組み、その効果はどうであったか。</p> <p>③生活交通対策、公共交通空白地域解消に向けたコミュニティバス導入では、その後も一般質問等で問題点を指摘した。答弁では、改善に向けて問題点や課題を検討するとあった。その結果はどうであったか。</p>
<p>3 13番 鈴木 京子議員 (40分) 10:55～11:35</p>	<p>以下の項目について、総括を求める。</p> <p>(1) 一般会計決算の概要にある「6つの事項について重点的に事業を実施した」効果と町民要望の関係について。</p> <p>(2) 前年度比、また年度途中における国・県の制度改定の影響はどうだったか。</p> <p>(3) 財政運営における工夫は。地方交付税における臨時財政対策債の措置額と、町が支出した消費税のおよその総額は。</p> <p>(4) 個人町民税の対前年比0.2%増の要因は。</p> <p>(5) 職員異動は適切に行われたか。負担が年々増えていると考えるが、どう対応したか。</p>

3名 9問

※時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。